

残膵容積と術後耐糖能異常、糖尿病の関連性について

1. 研究の対象

2026年1月～2027年3月に埼玉県立がんセンターで膵切除術を受けられた、もしくは今後受けられる方

2. 研究目的・方法

膵臓はインスリンを分泌し、体内の血糖値のコントロールを行なっている臓器です。膵臓の切除を要する疾患では術後の膵臓容積の減少により、インスリンの分泌が不十分になる可能性があります。インスリンの分泌が不十分であると、血糖値が悪化し、糖尿病合併症の発症のリスクが上がることで生活の質の低下やときには致命的な状況にもなりかねません。当施設では膵切除後の膵臓容積とインスリン分泌能との関連性を調べることで、膵臓の切除許容範囲の予測を目的とした研究を行なっています。この研究結果により、術後の血糖値悪化の予測や予防に役立たせることが期待されます。

3. 研究期間

当院研究許可日(2026年2月25日)～2030年3月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者基本情報、年齢、性別、身長、体重、病歴、診断名、内視鏡画像、CT画像、病理診断のカルテ上から確認できる既存情報、下記血液データ（既に採取された血液データ）

末梢血算：白血球数、好中球数、リンパ球数、ヘモグロビン、血小板

血液生化学：総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、クレアチニン、尿素窒素、ナトリウム、カリウム、カルシウム、ALP、LDH、CRP、HbA1c、空腹時血糖、C-ペプチド、プレアルブミン、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、中性脂肪

5. 研究に用いる試料・情報の取得方法

膵臓の容積はCT画像を使用して計測します。

膵臓のインスリン分泌量を見るために手術前後で追加で血液を採取します。

6. 試料・情報の公開

本研究成果については学会、論文等で報告する予定です。学会や論文で発表する際は、個人が特定される情報は削除したうえで発表を行います。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には当該試料・情報の利用を行いません（利用を停止します）ので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地

TEL：048-722-1111／FAX：048-722-1129

埼玉県立がんセンター 消化器外科 熊野皓一郎

研究責任者：埼玉県立がんセンター 消化器外科 小倉俊郎